

2026 年 9 月 吉日

関係各位

山梨学院大学スポーツ科学部
学部長 小山勝弘

山梨学院大学スポーツ科学部創設 10 周年記念イベントのご案内

拝啓

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本学スポーツ科学部（ISS）の教育・研究活動に温かいご理解と多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、山梨学院大学スポーツ科学部は 2016 年の創設以来、本年をもちまして節目の 10 周年を迎えることとなりました。これまでの 10 年間、本学部では「科学的根拠に基づく知性」と「現場に根ざした実践知・経験知」を兼ね備えた人材の育成に邁進してまいりました。

デジタル技術が急速に発展し効率性が求められる現代において、本学部ではあえて、じっくりと時間をかけて身体を通した直接体験から学ぶ「身体知」、そして野外教育の精神の重要性を改めて再定義し、次なる 10 年（ISS セカンドステージ）へ向けた一步を踏み出すべく、記念イベントを開催する運びとなりました。

つきましては、日頃よりお世話になっております皆様へ感謝の意を込めますとともに、本学部の取り組みや今後の展望をご紹介したく、関連資料を添えてご案内いたします。

【添付資料】

1. ISS 創設 10 周年記念イベント開催趣旨・記念メッセージ：これまでの 10 年の歩みと、次なる 10 年に向けた教育理念・目標、記念イベントに込めたメッセージをまとめております。
2. 記念イベントチラシ：2026 年 10 月 31 日（土）に開催予定のイベント内容、タイムスケジュールや出店情報等を掲載しております。
3. 野外教育関連フィルムの簡易解説：イベント内で誘致開催いたします「Banff Centre Mountain Film Festival in Japan 2026」の上映作品（全 7 作品）の概要となります。

ご多忙中大変恐縮ではございますが、ご高覧いただけますと幸いに存じます。

今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

お問い合わせ

山梨学院大学 スポーツ科学部（ISS）事務室 住所：〒400-8575 山梨県甲府市酒折 2-4-5 TEL：055-224-1260 E-mail：iss-info@c2c.ac.jp
--

ISS 10th Anniversary Initiative
山梨学院大学スポーツ科学部（ISS）創設 10 周年記念イベント



<開催概要>

開催日時：2026 年 10 月 31 日（土）15:30～20:00

会 場：山梨学院大学 メモリアルホール，ステージ 21，ラウンジ Y

主 催：山梨学院大学スポーツ科学部（ISS, Institute of Sport Science）

<開催目的>

ISS 創設 10 周年を記念し、これまでの 10 年間の実績を振り返り、次の 10 年間（ISS セカンドステージ）で目指すべき姿を再定義する。C2C 哲学、学則「教育目標」、学部設置趣旨、ISS ディプロマポリシー等を踏まえ、激動の近未来に向かう。

<開催趣意>

山梨学院大学スポーツ科学部（ISS）は、2016 年の創設以来、節目の 10 周年を迎えることとなりました。この間、ISS は「科学的根拠に基づく知性」と「現場に根ざした実践知・経験知」を兼ね備えた人材の育成に邁進し、多くの卒業生を教育・スポーツ・ビジネスの第一線へと送り出してまいりました。

今日、私たちは「デジタル革命」の潮流の中にあります。あらゆる事象が効率（タイパ）や空間の節約（スぺパ）によって最適化され、仮想空間での交流が日常となる中で、人間本来の「身体性」の在り方が問われています。この劇的な社会変容に直面する今、ISS がこの 10 年間一貫して追求してきた教育理念は、かつてない重要性を帯びています。

ISS が目指す教育の両輪として掲げてきた「競技・生涯スポーツの追求」と「アウトドアアクティビティ（野外教育）を通した学び」には、時代を超えて変わることのない、人間形成における三つの本質的共通項が存在します。

第一に、「生物学的熟成の時間」です。肉体・精神の強化や技術の練磨、あるいは自然環境への適応には、省略不可能な「熟成の時間」を要します。効率化が至上命題とされる現代社会において、あえて「じっくりと時間をかけて自己を磨き上げる」経験は、安易な結果に流されない忍耐強さと、プロセスを尊ぶ誠実な精神を育みます。

第二に、「他者と環境への畏怖と尊敬」です。物理的な場を共有し、対面で競い合う相手の卓越性を肌で感じる。そして、人間の制御を超えた大自然の威厳に対峙すること。これらの直接体験を通じて得られる「畏敬の念」こそが、自律を促し、他者への真のリスペクトに基づいた共生社会を築く礎となります。

第三に、「規律ある自律心の確立」です。スポーツのルールや自然界の摂理という「規律」を遵守し、あえて「不自由」や「非効率」を引き受けつつ、その枠組みの中で主体的に判断し行動する力は、不確実性や混迷を極める現代社会を生き抜くための、最も基本的かつ強力なスキルに他なりません。

本記念イベントは 10 周年記念事業の一つとして、ISS のこれまでの 10 年の歩みを振り返り、これら「身体知」の重要性を再定義するとともに、次なる 10 年に向けて、スポーツ科学が社会に対して果たすべき役割を広く発信することを目指すものです。今回、1976 年にスタートした世界最高峰のアウトドア映画祭である Banff Centre Mountain Film Festival in Japan 2026 を本学キャンパスに誘致し、ISS セカンドステージを起動します。自然の素晴らしさや厳しさ、人間の強さや弱さ、そしてそれらの美しさを堪能し、「身体性」の価値を感じていただきたいと思います。

「デジタル革命時代におけるスポーツと野外教育」



<メッセージ>

山梨学院大学スポーツ科学部（ISS）が誕生して 10 年。

社会はデジタル革命の荒波の中にあり、効率（タイパ）と空間の節約（スぺパ）が正義とされる時代になりました。

しかし、私たちは知っています。

身体を鍛え、技を磨く時間に近道など存在しないことを。

吹き抜ける風の冷たさや、対峙する相手の熱量を分かち合う「場」の尊さは何ものにも代え難いことを。

ISS がこの 10 年、競技スポーツ、生涯スポーツ、そして野外教育という異なるフィールドで追い求めてきたもの。

それは、不自由な身体や予測不能な自然と誠実に向き合うことでしか醸成されない、

人間としての「芯」の強さです。

科学的根拠に基づきパフォーマンスを追求する「鋭さ」と、自然や他者への畏敬を忘れない「豊かさ」。

この両輪こそが、次なる 10 年も変わらず、学生たちが社会という大海原へ漕ぎ出すための

確かな「錨（アンカー）」となると確信しています。

競技スポーツ、生涯スポーツ、野外活動が
交差する「人間教育」の10年。

身体の根源へ、 未来の共生へ

山梨学院大学スポーツ科学部 10周年記念事業

デジタル革命により「効率」と「仮想」が加速する現代社会。
私たちが10年間、一貫して守り抜いてきたもの。
それは「身体を通した直接体験」という揺るぎない価値。

「効率」だけを追わず、自分と対象に向き合うことでしか得られない真の成長がある
熟成の時間の共有（タイパへのアンチテーゼ）

タイパの錯覚

スポーツにおける時間
体力（筋力、etc.）やスキルの向上に必要な、
決して省略することができない生物学的プロセス

野外教育における時間
自然のサイクルに同期し、不便さを受け入れ、
緩やかに一歩ずつ進む体験過程

<共通の価値観>
効率だけを追いかけず、時間をかけて自分と対象に向き合うことでしか
醸成されることのない「本物の成長」を目指す

物理的な距離をゼロにせず、あえて「場」を共有し、自分を超越する存在を知り、認める
他者・自然への畏怖と尊敬（スぺパへのアンチテーゼ）

スポーツ/他者へのリスペクト
対面で本気でぶつかり合う
身体的体験
相手の卓越性を肌で感じることで
生まれる他者への深い尊敬

野外教育/自然への謙虚さ
人間の力が及ばない
巨大な自然との対峙
予測不可能な未知の環境を
受容することで育まれる畏敬の念



山梨学院大学

YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

スポーツ科学部創設10周年記念イベント

Banff Centre Mountain Film Festival (BMFF) 開催！

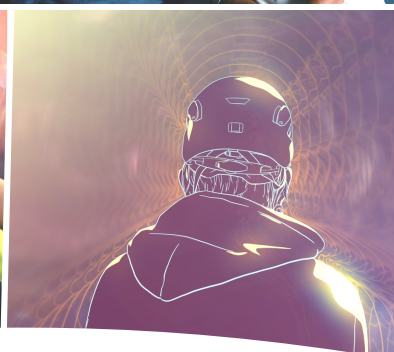
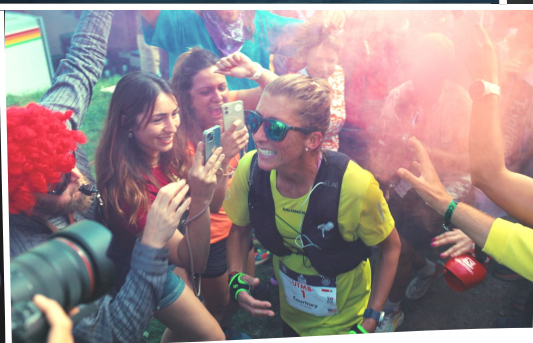


～デジタル革命時代におけるスポーツと野外教育～

山梨学院大学スポーツ科学部（ISS）は、2016年の創設以来、節目の10周年を迎えることとなりました。この間、ISSは「科学的根拠に基づく知性」と「現場に根ざした実践知・経験知」を兼ね備えた人材育成に邁進し、多くの卒業生を教育・スポーツ・ビジネスの第一線へと送り出してまいりました。本記念イベントは、ISSのこれまでの10年の歩みを振り返り、これら「身体知」の重要性を再定義するとともに、予測不可能な大自然を学びの場とする野外教育の精神を次なる10年の原動力に変え、スポーツ科学が社会に対して果たすべき役割を広く発信することを目指すものです。

10.31 Sat.

 DOORS OPEN 15:30 /  SCREENING STARTS 17:00



協力：株式会社行雲

身体を通して、人間として 「たくましく生きる力」を育む

スポーツにも、野外教育にも、絶対に省略できない「時間」があります。
時間をかけて心身を鍛え、技を磨き、自然に向き合う経験は、
効率だけでは得られない成長をもたらします。

- ✓ 競い合う相手への敬意
- ✓ 大自然への畏敬と謙虚さ
- ✓ 仲間と協働し、ルールや自然環境という制約の中で自ら考え、判断し、行動する力

ISSが大切にしてきた学びは、競技スポーツ、生涯スポーツ、野外教育を貫く「人間教育」です。
想定外の変化が生じる時代だからこそ、身体を通じた直接体験が、人間としての確かな力を育みます。

イベントスケジュール

- 15:30 開場・キッチンカー販売開始
- 16:30 ISS創設10周年記念式典
- 17:00 フィルム上映開始（屋内と*屋外で上映）
- 19:00 フィルム上映終了
- 20:00 閉場・キッチンカー販売終了

*屋外上映は、無料でご鑑賞いただけます。

BMFF上映作品

2 Legs is 2 Easy	7分
109 Below	14分
The Last Observers	24分
(休憩 10分)	
Eliot Jackson - Drop The Mic	2分
SOUNDSCAPE	14分
A Team Sport	16分
EARTHSIDE	33分



出店情報

当日は地元有名ショップのキッチンカーが多数出店予定。フードとドリンクを楽しみながらISS創設10周年記念イベントを満喫して下さい！



モンデ酒造
株式会社



萌木の村
ROCK



icciKAWARA
COFFEE



YAMATSUMI
Gibier

山祇ジビエ



クラフト角打ち酒屋
ウラクラ

and more



バンフセンター・マウンテンフィルムフェスティバル

カナダ・アルバータ州バンフにあるThe Banff Centre が主催する、50年以上の歴史を持つ国際的なアウトドア・ドキュメンタリー映画祭です。アドベンチャー・スピリット、山岳カルチャー、そして自然環境の素晴らしさを称え、そのメッセージを世界へと発信しています。本国カナダでの上映後は、ワールドツアーとして世界6大陸・40カ国以上を巡り、毎年50万人以上の観客を魅了する世界有数の映画祭です。

TICKET (屋内)

¥1,500 (前売券)

¥1,800 (当日券)



チケットはこちらから↑



開催日程 2026年10月31日 (土) 15:30開場, 17:00上映



開催場所 山梨学院大学
メモリアルホール, ステージ21, ラウンジY
(山梨県甲府市酒折2-4-5)

屋内上映 (メモリアルホール) の鑑賞は有料 (チケット必要) ですが、屋外上映 (ステージ21) の鑑賞は無料です！



山梨学院大学
YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY



受付場所や駐車場等の
詳細情報ははこちらから →



お問い合わせ

iss-info@c2c.ac.jp

055-224-1260 (ISS事務局)

BANFF CENTRE

MOUNTAIN
FILM FESTIVAL
WORLD TOUR

THE WORLD'S
BEST MOUNTAIN FILMS

JAPAN

[<http://www.banff.jp>]



【開催日程】

新潟（南魚沼市）：9月27日（日）
東京（大崎）：10月10日（土）～12日（月・祝）
大阪（心斎橋）：10月24日（土）
山梨（甲府市）：10月31日（土）
愛知（名古屋）：11月7日（土）
富山（朝日町）：11月14日（土）
北海道（東川町）：11月15日（日）

Paul Zizka, Banff National Park

Official Main Partners



ゲートシティ大崎



Official Presenting Partners

MERRELL



Official Supporting Partners



HIRAKATA T-SITE



Banff CENTER Mountain Film Festival in Japan 2026

<山梨 アーカイブ セレクション>

■タイトル : 2 Legs is 2 Easy / USA 7分 制作 : Pierre Henni

左脚に骨のがんを抱えて生まれ、生まれてから一度も両脚で立ったことがないスティーブ・カーチーフスキー。しかしそれでも、アウトドアアスリートとして彼がやりたいと思ったことをあきらめたことは一度もない。困難と向き合う勇気を私たちに教えてくれる。



■タイトル : 109 Below / USA 14分 制作 : Stept Studios

見知らぬ人の命を救うために命がけで挑む、精鋭レスキューボランティアたちの不屈の精神と覚悟を描いた物語。1982年、マウント・ワシントンで行われたある救助活動は、2人のクライマーの人生だけでなく、彼らを救おうとしたレスキュー隊員たちの人生をも変えることになる。



■タイトル : The Last Observers / USA 24分 制作 : Patagonia Films

間もなく自動化される予定のスウェーデン南西部の海岸にある国内で最後に残された手動の気象観測所。自然との共生の中に真の幸せを見出し、素朴で穏やかな人生を歩んできた夫婦の姿が美しい映像とともに描かれる。



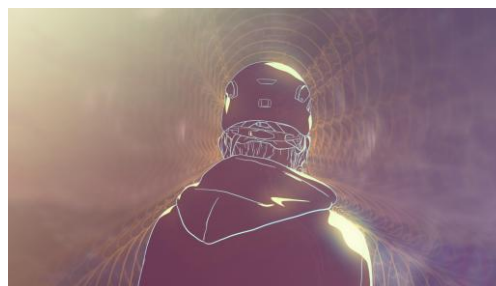
■タイトル : Eliot Jackson - Drop The Mic / Canada 2分 制作 : Scott Secco Films

元プロ・マウンテンバイクライダーのエリオット・ジャクソン。第一線を退き、さまざまな社会貢献活動に情熱を注いでいる。しかし、マウンテンバイク界で最もクールにスクラブ・ウィップを決めるライダーの一人でもある。



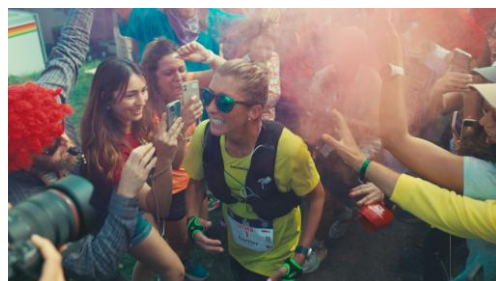
■タイトル : SOUNDSCAPE アメリカ 14分 制作 : Well Travelled Collective

世界的な冒険アスリートであり作家でもある全盲のエリック・ヴァイエンマイヤー。視覚のない世界では、反響音の位置、感触、想像力を駆使して山に登る。シエラネバダ山脈の奥深くにある巨大な高山の岩壁に登る様子を、彼と一緒に体験する。



■タイトル : A Team Sport / USA 16分 制作 : Stept Studios

最も偉大なウルトラランナーの一人であるコートニー・ドウォルター。2023年にはウエスタン・ステイツ100、ハードロック100、そしてUTMBという3つの伝説的な100マイル超のレースをひと夏で連続優勝し、ウルトラランニング史上初の“トリプルクラウン”を達成した。しかし、その驚異的な成功の陰には、彼女を支えるチームの存在がある。



■タイトル : EARTHSIDE アメリカ 33分 制作 : The North Face

2022年、ヒラリー・ネルソン、エミリー・ハリントン、クリスティーナ・ラステンバーガー、ブレット・ハリントンは、バフィン島での登山とスキーの初下山を目指し、北極圏上空への遠征する。一緒に過ごした美しい時間が心に刻まれる。

